

# ヤマトカンキョウ 株式会社

## 会社概要

- 事業主 牧瀬 正和
- 所在地 佐賀市大和町大字尼寺926番地
- 創 業 1961年(昭和36年)
- 従業員数 30名
- 事業内容 浄化槽・下水道運転管理、  
一般廃棄物収集運搬、給排水設備工事



がいた健康経営実践  
優良企業 2022



## 健康経営に取り組みきっかけ

毎年の健康診断の結果、要精密検査などの割合が増加傾向にあり、また、現場の作業においては、腰痛を患う社員もおり、課題を感じていた。また、本業務が下水道や一般廃棄物の収集運搬業であり、ライフラインの一部を担っていることから、新型インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染拡大時においても、事業を継続することが必要であり、衛生面における意識付けにもつながると考えたため。

## 健康経営を始めて良かったこと

チェックリストにより、できている項目とできていない項目が選別でき、具体的な実施項目が分かりやすくなった。健康診断の結果、要精密検査の場合に、1回に限り就労免除し、就業時間中の通院を許可しているが、健康に関するスタッフの意識も徐々に高くなっていくように感じます。

## 健康づくりへの取り組み

仕事と家庭(プライベート)はひとつながりと考え、ワークライフバランスと両方の充実を目指しています。具体的には、長年継続している毎朝のラジオ体操と活力朝礼の実施による仕事モードへの切り替え、年2回の社員個人面談の実施によりメンタル面のフォローを行っています。また、朝礼時には、各自が書いた1年後、3年後、10年後の個人・家庭・会社でのそれぞれのありたい姿を、黙読するようにしています。



# 牟田建設 株式会社

## 会社概要

- 事業主 牟田 正明
- 所在地 神埼郡吉野ヶ里町大曲1756
- 創業 1952年(昭和27年)
- 従業員数 101名
- 事業内容 総合建設業



## 健康経営に取り組むきっかけ

協会けんぽ佐賀支部が推奨する「がばい健康企業宣言」を平成31年に登録し、社員の健康に関する取り組みの強化を図った。年に一度の健康診断で2次検査の社員に対しては、必ず受診し、病院より就業可能の証明をもらうようにしています。建設業で働く上で最も重要なのは安全が一番であるため、そのためにも健康である事は重要だと思います。

## 健康経営を始めて良かったこと

健康に関する意識が高まっています。年に一度の健康診断においても追加検診を希望する社員が増加しています。有給休暇を取得しやすい環境になったためだと思います。作業現場においても、朝のKY時に必ず健康チェックをし、体調不良な場合は、帰社させるよう義務付けしています。社員の健康に関する意識が高まっています。

## 健康づくりへの取り組み

本社と当社機材センターの入口に新型コロナ対策として、検温器、アルコール消毒液を設置しています。また、各部署にも消毒液を設置しています。AEDは社員全員が使用できるように研修会を開催しました。毎年健康診断後、中性脂肪の数値の高い社員に対して、協会けんぽより、保健師・管理栄養士による食事等による体質改善を手助けしていただいています。



# 株式会社 豆田組

## 会社概要

- 事業主 豆田 守正
- 所在地 佐賀市三瀬村藤原3747
- 創業 1953年(昭和28年)
- 従業員数 34名
- 事業内容 土木工事業及び  
三瀬トンネル料金徴収と管理業務



## 健康経営に取り組むきっかけ

若手の雇用が難しい状況で、社員の平均年齢は50歳を超えて健康面で不安を感じておりました。元気で長く働いてもらうためには、健康に関する取り組みが必要と感じ令和元年に「がばい健康企業宣言」をして健康経営の取組みを始めました。おかげさまで今年度も優良企業に認定されました。

## 健康経営を始めて良かったこと

毎年、定期健診受診率100%を達成。保健指導も対象者は全員受けており、再検査、治療を要する者は個別指導により受診するようになりました。お互いの気遣いも増え健康意識が高まったように思います。

## 健康づくりへの取り組み

健診結果により各個人に保健指導を行い、要治療者には重症化しないため早期に受診して治療を開始するように促しています。始業前のラジオ体操に加え、検温とアルコールチェックをおこない体調を整えてから一日をスタートしています。また、コロナ感染が心配されるなか、長期出張からの帰社時や体調不良などの場合には、会社に抗原検査キットを準備しており誰でも検査できるようにしています。



# 株式会社 植松建設

## 会社概要

- 事業主 植松 信安
- 所在地 鹿島市大字高津原3541-1
- 創業 1965年(昭和40年)
- 従業員数 41名
- 事業内容 建設業



## 健康経営に取り組むきっかけ

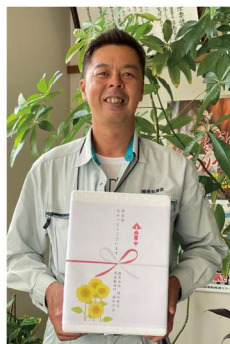
社員の平均年齢が46歳を超え、それに伴い健康診断の結果が要再検査者の数が増加してきました。身体が基本の業種である為、健康管理の意識改革として実行する為『がばい健康企業宣言』に参加しました。

## 健康経営を始めて良かったこと

会社には社員の健康を守る義務があるという再認識を持ち、社員も自分の健康の保持の為に禁煙・禁酒・ウォーキングをするという傾向がみえました。健康診断で病気の早期発見につながり、治療プロセスと職場復帰まで社員に寄り添う環境作りもできました。

## 健康づくりへの取り組み

がばい健康企業宣言の担当者に令和元年6月に保健師専門職員に来社していただき、業務相談をし、担当者の意識・取り組み方を勉強し、毎年何らかのスキルアップを図っている。インフルエンザワクチンを全社員会社負担で接種。健康診断二次健診の推奨。社内禁煙、社屋外喫煙所設置。熱中症対策キットを各現場に設置。



# 株式会社 親和コンサルタント

## 会社概要

- 事業主 盛永 保弘
- 所在地 佐賀市卸本町7番25号
- 創業 1975年(昭和50年)
- 従業員数 26名
- 事業内容 建設コンサルタント業  
(調査、測量、設計)



## 健康経営に取り組むきっかけ

「健康経営」という言葉が浸透し始めてきた頃、何から始めたらいいのか模索している時に『がばい健康企業宣言』の取り組みを知りました。弊社では従業員の高齢化が問題となっており、健康に働き続けられる環境を整えるきっかけになればという思いと、従業員が健康であることは企業の魅力にも繋がるという思いから参加を決意しました。

## 健康経営を始めて良かったこと

3年連続で優良企業に認定され、登録以前に比べると、従業員一人一人の健康に対する意識が高まりつつあります。先日、講師を招いて「メンタルヘルス」についての健康セミナーを開催し、体の健康だけではなく心の健康について考える良い機会になりました。また、突発的な事態に備え、業務に支障をきたさないような協力体制を見直す機会にも繋がり、会社全体の一体感が増してきているように感じます。

## 健康づくりへの取り組み

平成24年度から朝礼時と15時のラジオ体操を継続しています。また、健診結果による要治療・要精密検査対象者へ受診勧奨を実施のうえ経過報告を求めています。その他として、健康セミナーの開催、インフルエンザ予防接種の費用補助、コロナ対策や熱中症対策など、その都度取り組みを行っています。



# 佐三木工業 株式会社

## 会社概要

- 事業主 佐々木 勇志
- 所在地 唐津市浜玉町横田下65-1
- 創業 1982年(昭和57年)
- 従業員数 24名
- 事業内容 建設業



## 健康経営に取り組むきっかけ

「がばい健康企業宣言」に登録する時に弊社は老定年を撤廃しているため従業員の平均年齢の上昇とともに、生活習慣病の予防が大切なことだと思いました。健康で元気に働けるようにするにはどうすればよいか考えるきっかけになりました。

## 健康経営を始めて良かったこと

健康経営に取り組むことにより社員が自身の健康について関心を持つようになり、保健指導を積極的に受けてくれるようになりました。メンタルヘルス・治療と仕事の両立支援にも取り組み、安心して働ける職場環境づくりを推進していきます。

## 健康づくりへの取り組み

健康診断の100%受診、対象者への保健指導を受けるように促しました。有給休暇を時間単位で取得できるようにして通院などに柔軟に対応できるようにしました。感染症予防に関しては空気清浄機・アルコール消毒液・体温測定器等を設置しています。熱中症予防として、ドリンクや緑茶、タブレット、緊急用の経口補水液の提供をしています。



# 株式会社 YSK九州工場

## 会社概要

- 事業主 石川直人
- 所在地 西松浦郡有田町北ノ川内乙3103-6
- 創業 本社 1966年(昭和41年)  
九州工場 1990年(平成2年)
- 従業員数 200名
- 事業内容 金属製品製造業



## 健康経営に取り組むきっかけ

本社で健康経営優良法人(中小規模法人部門)の認定を受け、協会けんぽ佐賀支部版がばい健康企業宣言における優良企業認定を受けることが出来れば従業員がイキイキ、自社の成長と共に長く勤めてもらう事に繋がるのではないかと思い決断いたしました。

## 健康経営を始めて良かったこと

長年課題だった過重労働について外国人雇用を取り入れ人手を確保する事と、個人の残業時間を可視化し原則を守る様気に留めることで過重労働を防止できるようになりました。また、海外実習生/特定技能者とのコミュニケーション目的を図り行ったミニサッカー大会・バドミントン大会・ヨガ教室開催で感染予防の中ではありましたが運動不足解消にも手助けすることができ社内の雰囲気も良くなりました。

## 健康づくりへの取り組み

毎朝のラジオ体操。定期健診・ストレスチェック・特定保健指導対象者面談それぞれ100%実施。社内全面禁煙の為、禁煙外来全額負担。健康に関する情報提供を毎月1度社内電子配信。時間単位で年次有給取得を実施、柔軟に休暇取得できるようになりました。感染予防の対策としてインフルエンザの予防接種の費用補助。



# 株式会社 福地建設

## 会社概要

- 事業主 福地 康浩
- 所在地 神崎市神崎町尾崎3248
- 創業 1975年(昭和50年)
- 従業員数 16名
- 事業内容 建設業



がばい健康企業宣言  
優良企業 2022



## 健康経営に取り組むきっかけ

社員の年齢も高齢化が進展しており、長く健康に働いていけるようより一層健康増進を図っていく必要を感じ健康経営をきっかけに自身の健康を考えてもらうことが自分自身のため、そして会社のためにもつながるので、社員の健康に対する意識をこれまで以上に向上させるために取り組むこととしました。

## 健康経営を始めて良かったこと

改めて社員の健康について考える機会ができたことです。これからも、安全と健康を確保するためにリスクマネジメントの周知徹底を基本に、健診内容の充実、メンタルヘルスにも取り組み、安心して働ける職場環境づくりを推進していきます。

## 健康づくりへの取り組み

新型コロナウイルス感染予防のための体温計測、アルコール手指消毒、マスク着用の徹底。熱中症対策として経口補水液を提供するなどして対策を行っています。ワークライフバランスへの取り組みとして、会社規定休日以外に特別休暇、高齢者、女性は祝・祭日の完全休暇を導入しました。また、今後もコロナ禍で中止していた、BBQ大会・ボウリング大会等も開催し、仕事と家庭環境の両立に向けた環境づくりに取り組んでいきます。





# 株式会社 トスプロ

## 会社概要

- 事業主 野田 哲郎
- 所在地 鳥栖市儀徳町2927番地1
- 創業 1958年(昭和33年)
- 従業員数 26名
- 事業内容 LPガス販売、天然水宅配事業、  
上下水道工事、リフォーム工事



## 健康経営に取り組むきっかけ

社員ひとりひとりが心身ともに生き生きと働ける環境であるか、それが会社発展の大きなポイントの一つと考えております。「がいの健康企業宣言」を認定されることによって経営陣・社員ともに健康について意識を高めてほしいと思ったためです。

## 健康経営を始めて良かったこと

全社員、今まで以上に健康についての意識が高まりました。また、経営陣も社員の健康状態をコミュニケーションを取るなかで確認するなど以前よりも全員が思いやりを持って仕事をしています。

## 健康づくりへの取り組み

毎朝のラジオ体操。社内レクリエーション(卓球大会など)。入社時の検温。インフルエンザワクチン接種の全額負担。手指消毒・うがいの励行。健康診断など。



# 大坪産業 株式会社

## 会社概要

- 事業主 陣内 元治
- 所在地 佐賀市東与賀町大字飯盛 2634-1
- 創 業 1960年(昭和35年)
- 従業員数 37名
- 事業内容 鉄・非鉄金属リサイクル業、産業廃棄物処理業、  
建築解体、ランドリー事業、婦人服販売



## 健康経営に取り組むきっかけ

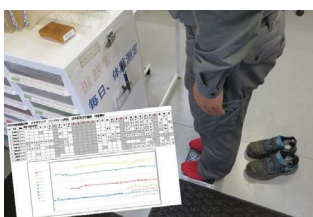
「共存共栄」を理念として掲げ理念経営を行う中で、行動指針の一つにあげている「社員と共に」を実践する上において、「社員の一人ひとりが持つ無限の可能性を引き出し、夢と希望と誇りをもって働ける企業」になるためには、社員の健康がもっとも重要であるという事を再認識して健康経営に取り組み始めました。

## 健康経営を始めて良かったこと

健康経営を始めていろいろな手段で社員さんに健康に関する情報を提供することで、社員さん一人ひとりの健康に対する意識が健康経営を始める前よりは少しずつ高くなってきている。「がばい健康企業宣言」の認定証やポスターを掲示することにより、社外(お客様や業者さん)の人に健康経営に取り組む会社と認知して頂き社員を大切にしているという良い印象を持ってもらえている。

## 健康づくりへの取り組み

- 「健康に関する情報提供」意識付け、きっかけ作り  
毎月の給与明細に健康に関する「ワンポイントアドバイス」を同封し、社員さんの健康に関する意識付けやきっかけを提供している。
- 「健康管理」メタボリックシンドローム又は予備群と診断された人の体重管理  
毎年の健康診断において、メタボリックシンドローム又は予備群と診断された人は、その後1年間入社時に毎日体重測定を行い事務員さんへ提出。体重測定を継続する工夫として提出された体重を記録しグラフで変化が見られるようにしている。また、数日提出がない人には声掛け実施。
- 「社長、役員が健康づくり実践」  
山登りやフルマラソンへの挑戦などを継続的に実践。



# 株式会社 ケーブルワン

## 会社概要

- 事業主 大野 裕志
- 所在地 武雄市武雄町大字昭和360
- 創業 1979年(昭和54年)
- 従業員数 46名
- 事業内容 情報通信業



## 健康経営に取り組むきっかけ

以前より社員の長時間労働による健康への影響が懸念されていました。社員の健康問題が、企業の業績向上・持続的発展、仕事のパフォーマンスにも大きく影響することから、抜本的な改善が必要と考えました。健康的に仕事ができる環境を整えるための第一歩として、永くお付き合いがあるアクサ生命様と共に健康経営に取り組み始めました。

## 健康経営を始めて良かったこと

健康経営の取り組みの一層の理解と、健康づくりに向けた従業員の行動変容促進を目的とした健康習慣アンケートとそのフィードバックセミナーを実施したことで、会社全体で健康に対する意識が変わってきました。今も、そしてこれからも自分自身がベストコンディションで働ける心と身体であることが大切だと思います。次世代にむけて、社員の健康をいかにして守るかは会社の事業を継続するうえでとても重要と感じます。

## 健康づくりへの取り組み

定期健診後の再検査の重要性を経営陣よりしっかり伝えてもらうことで、毎年受診率100%を継続しています。また新型コロナウイルス感染症の予防策として、役職員全員とその家族に抗原検査キットを配布したり、ワクチン接種日やコロナウイルスに感染した子どもを看護する日などを特別休暇として扱うこととしています。今後も社員一人ひとりの心と身体の健康増進に取り組み、引き続き活動を推進していきたいと考えています。



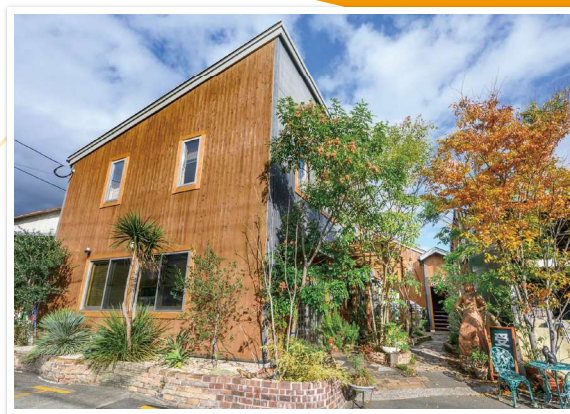
# 株式会社 西村商店

## 会社概要

- 事業主 西村 明美
- 所在地 三養基郡上峰町坊所1596-1
- 創業 1963年(昭和38年)
- 従業員数 20名
- 事業内容 金属スクラップリサイクル事業、アップサイクル事業、保育園事業



がいの健康企業賞  
優良企業 2022



## 健康経営に取り組むきっかけ

弊社の社員は中途採用での入社が大半で、離職率は低く、10年以上在籍している社員が多い。時の流れとともに社員の高齢化が目立ち、ついに平均年齢が40歳を超えてしまった。弊社の業務内容は身体を使うことが多く、肉体の高齢化に加え、昨今の環境変化も相まって、年々作業環境が苛酷になってきている。その中でも社員が健康に、望む限りいつまでも働くことができるように、健康経営に着手した。

## 健康経営を始めて良かったこと

健康診断は以前より全員が受けてはいたものの、フォローが本人任せになっていたこともあって特に何も対処していなかった。健康経営を始めてから社内の健康担当者が社員全員の健康状態を把握し定期的な面談やアドバイスをすることで、状態が悪くなってから対処する対症療法ではなく早目のケアに取り掛かるようになった。

## 健康づくりへの取り組み

社員が自分の健康状態を把握するためのツールとして希望者全員にスマートウォッチを支給。健康診断の二次検査は有給の特別休暇を利用できる制度を導入。整骨院と契約し、定期的に社内で就業時間中に手技や鍼灸での治療ができるようにした。定休日を増やして年間休日を増やし、有給休暇も無駄なく使いきれるように取得の推進も行っている。



# 株式会社 機動開発

## 会社概要

- 事業主 大内 義弘
- 所在地 杵島郡白石町大字馬洗2303-3
- 創 業 2007年(平成19年)
- 従業員数 22名
- 事業内容 土木一式工事  
とび・土工工事等



## 健康経営に取り組むきっかけ

社員の高齢化に伴い、身体に問題を抱えてしまう者が増えてきた。働きたいという本人達  
の意思はあるのに、身体の不調、入院・通院により欠勤が増え、将来への不安を耳にすること  
があった。社員全員の健康の維持・増進を図り、サポートすることにより、病の早期発見・  
早期治療を開始でき、元気に働き続けられるようになるのではないかと考えた。

## 健康経営を始めて良かったこと

健康経営に取り組むようになり、自ら、健康診断へ足を運ぶ者が増えてきた。又、社長が  
禁煙を成功させたことをきっかけに、今まで喫煙率の高かった弊社だが、徐々に禁煙に取り  
組む姿が見られるようになった。

## 健康づくりへの取り組み

社員の健康診断受診率100%を達成するため、掲示板にて呼び掛けを行っている。心身の  
不調を訴えやすい社内作りのため、年2回の親睦会、年2回のお弁当会、年1回の社員旅行  
(過去3年間コロナで自粛、来年は北海道予定)を実施している。又、夏には作業服と空調服、  
冬には作業服と防寒着を支給し、特に夏場は、毎日社長が現場を見回り、熱中症対策の為、  
冷たいドリンク等を持って、社員の健康状態をチェックしている。他にも、弊社には看護師の  
資格を持つ者が1名おり、健診結果をもとに、健康指導を行っている。



# 株式会社 バンボード運輸

## 会社概要

- 事業主 吉原 啓介
- 所在地 佐賀市嘉瀬町大字十五 342番地5
- 創業 1969年(昭和44年)
- 従業員数 48名
- 事業内容 運送業



## 健康経営に取り組むきっかけ

従業員の平均年齢が年々上がってきており、従業員の健康に関するリスクが経営課題でした。そんななか「がばい健康企業宣言」を知り、従業員の健康に関する意識改革ができるのではないかと始める事にしました。運送業において日頃安全な運行を行ううえで健康管理はとても重要で、一人ひとりが健康維持に取り組むきっかけになればと思っています。

## 健康経営を始めて良かったこと

健康診断の結果を保健師の方が個別面談による保健指導を行ってもらったことで面談を受けた従業員が健診結果に対して素直に耳を傾けるようになったと感じます。また、その効果として他の従業員も健診結果に興味を持つようになり、社内の健康管理に対して雰囲気良くなった。

## 健康づくりへの取り組み

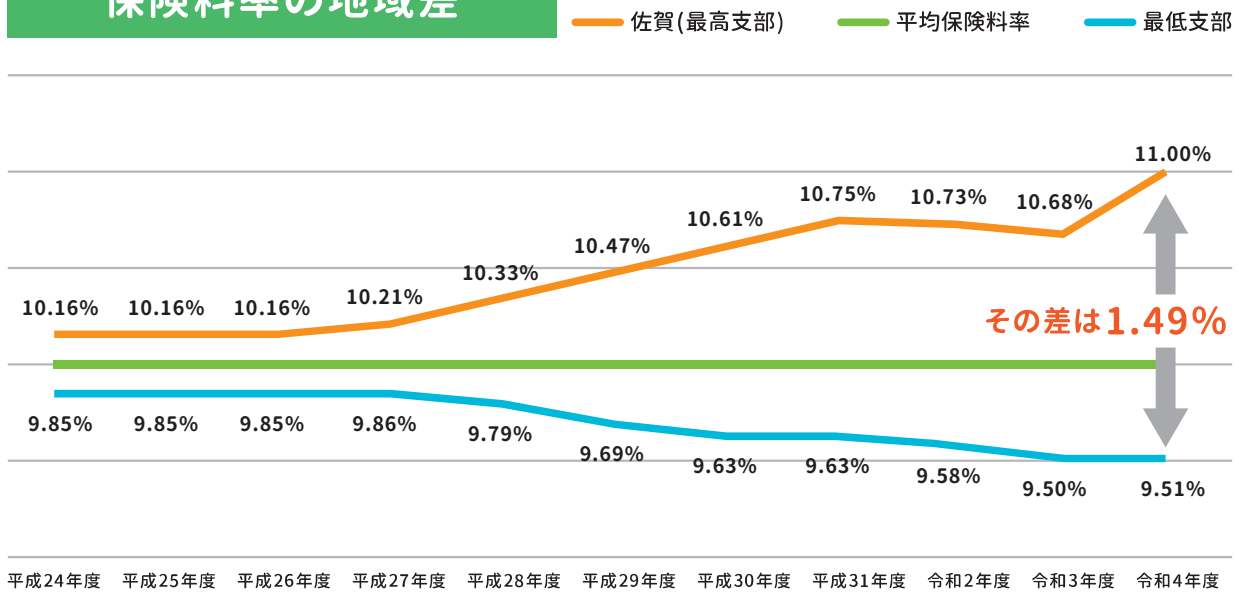
社内に血圧計を設置し、血圧の測定を習慣づけることで従業員一人ひとりが数値を自己管理している。社内の健康に対する意識が高まり早期治療に繋がっている。



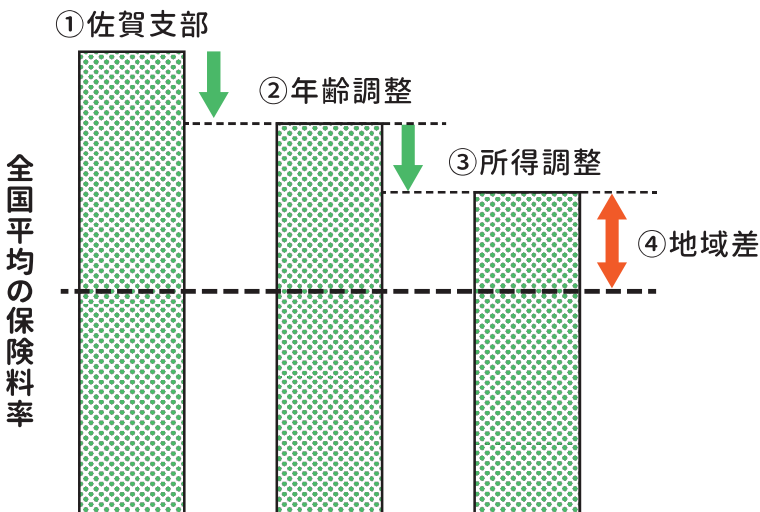
# 健康保険料率設定の仕組み

協会けんぽの健康保険料率は、都道府県ごとの年齢構成や所得水準の差等を調整したうえで、当該都道府県の**加入者1人当たりの医療費**に基づいて算出されます。令和4年度の佐賀支部の保険料率は「11.00%」で**全国一高く**、12年連続で最も高い保険料率となっています。また、保険料率が最も低い支部との差は「1.49%」に拡大しています。

## 保険料率の地域差



## 保険料率設定のイメージ



- ① 佐賀支部加入者の医療費を基に保険料率を算出
- ② 協会けんぽ全体と佐賀支部加入者の平均年齢を比較。年齢が高い佐賀支部は①の保険料率をマイナス調整（年齢調整）
- ③ 協会けんぽ全体と佐賀支部加入者の所得水準を比較。所得が低い佐賀支部は②の保険料率をマイナス調整（所得調整）
- ④ 年齢調整・所得調整した結果、全国平均の保険料率との差が地域差となる。

疾病の予防などの取り組みにより医療費の上昇を抑えることができれば、その分保険料率の伸びを抑えることができる仕組みとなっています。